

これからの「理科学習指導案」のプロット案

1 目標

2 内容

内容でなく、教材観、児童・生徒観としてもよい

3 本単元で働かせる理科の見方・考え方

(1) 見方

(2) 考え方

見方・考え方は手段。資質・能力は目的で異なることに注意する。見方・考え方と資質・能力と別に考える。さらに見方と考え方は別に設定し、その順序性はない。

4 本単元で育成する資質・能力

(1) 知識・技能

(2) 思考力・判断力・表現力等

(3) 学びに向かう力・人間性等

以前からある「学力」。学習指導要領の記述の大部分。

今回の改訂の新しい部分。小学校では「問題解決の力」中学校では「科学的に探究する力」として、それぞれ学年ごとに示されている。

【小学校】
問題解決の力
3年 差異点や共通点を基に、問題を見いだす力
4年 既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力
5年 予想や仮説を基に、解決方法を発想する力
6年 主に妥当な考えをつくり出す力

5 評価規準

(1) 知識・技能

(2) 思考・判断・表現等

(3) 主体的に学習に取り組む態度

【中学校】
科学的に探究する力
1年 自然の事物・現象に進んで関わり、その中から問題を見いだす
2年 解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する
3年 探究の過程を振り返る

6 指導の重点

7 指導計画（時）

表組みで示す。数時間の単元（学習のまとめり）を全部書く。

8 本時の学習計画（第 時）

具体的な評価方法については、ここで示すか、または、7の指導計画の中で示す。
板書計画やワークシートを示すのであれば、ここに含める。